

家庭学習の手引き

自ら学ぶ子どもたちに



西条市立玉津小学校

保護者の方へ

小学校の学習は、将来自立するための基礎となるものです。特に「読む」「書く」「計算する」などは、欠かすことのできない「生きるための力」です。

玉津小学校では、一斉指導だけでなく個別指導や少人数指導など、「個に応じた指導」の取組などを通して、基礎学力を高めるための努力をしていますが、ご家庭と協力することで、更にその力が何倍にも高められます。

よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きをよく目にする場所に置いていただき、お子様の学力向上にお役立てください。

◎ 家庭学習における保護者の役割

1 学習時間の確保

短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせてください。「何時から何時まで勉強する。」ということを、家庭でよく話し合って、無理のないように時間設定をしてください。

2 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけているなかで勉強しても、効果はあがりません。子どもが落ち着いた環境で学習できるように、各家庭でよく話し合い、工夫してください。

3 見届け・励まし

子どもが学習したことのできるだけ目を通し、声をかけたり、ほめたり励ましたりすることで、子どもはどんどんやる気を出します。子どもの様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

4 学校との連携

子どもの学習で、分からないときや迷ったときなどは、担任に遠慮なくお知らせください。



小学校 5・6年

自学自習の習慣を身に付ける

5・6年生では・・・

生活リズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、教師や家族の言葉がけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、温かく見守りながら励ましましょう。



学習の特徴

- ・ 学習内容が多くなり、論理的な内容の学習が増えます。
- ・ 筋道を立てて考える力、広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ・ 自ら学ぶことのおもしろさを経験することで、ものの見方や考え方を身に付けることができます。

家庭での援助

- ・ 高学年だからといって本人任せにせず、温かく見守りましょう。
- ・ 「やればできる」という気持ちをもたせ、子どもの自尊感情を育てるように、ほめたり、励ましたりすることが大切です。
- ・ 学習する場所を決め、整理整頓し、落ち着いて学習ができる環境をつくりましょう。
- ・ 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べる。

児童のみなさんへ

□ 家庭学習の進め方

- ① 決まった時間になったら、机に向かう。
- ② 机の上には、学習用具だけを置く。
- ③ 「ながら勉強」をしない。（集中して取り組もう。）
- ④ 文字をていねいに正しく書く。
- ⑤ 復習を大事にする。
- ⑥ 計画帳（玉の子ノート）をチェックしながら、明日の時間割を合わせる。（学校からのお便りは、お家の人に見せる。）
- ⑦ 規則正しい生活をする。

□ 自主学習の仕方

1 宿題をすませる。

2 自主学習をしよう。

- その日の学習の復習（教科書やノートをまとめる。）
学んだことを自分の言葉でまとめたり、ふりかえったりしよう！
- 国語の教科書の好きなところの視写
- 詩や俳句、短作文、日記
- 分からない言葉の意味調べ(辞典を使って)や漢字練習
- 算数の計算練習や問題（教科書・ドリル・問題集）
- 新聞やニュースを見て、感想や分かったことを書く。
- 地図帳や年表、資料集で関心のあることについて調べる。
- 次に学習するところ（それぞれの教科）の予習
- テスト勉強
- 読書

学習時間のめやす
60分～90分ていど



5 家庭学習の時間について

学習時間のめやす（毎日これくらいの時間は頑張らせてください。）

////////////////////////////////////
1・2年生・・・30分程度
3・4年生・・・45分～60分程度
5・6年生・・・60分～90分程度
////////////////////////////////////

6 規則正しい生活をさせてください。

- 早寝（1・2年は9時、3・4年は9時30分
5・6年は10時までに寝る。）
- 早起き（6時30分までに起きる。）
- 朝食は必ずとる。
- 朝の排便をする。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家に帰ったら、早めに宿題をすませる。

※ 学習の大切なポイント

- ・勉強するときは、テレビを消す。
- ・よい姿勢で学習する。
- ・机の上を、きれいにかたづける。
(明るさにも気を付けましょう。)

◎ 家庭学習の参考例

国語 ・漢字練習・意味調べ・視写・読書
音読・日記など

算数 ・計算練習・ドリル学習・文章問題
・テストやプリントで間違えた問題を
もう一度解いてみる。

社会 ・理科・生活科など
・勉強したところに関係がある事柄を
本や辞典などで調べてまとめる。

市販のドリルや問題集、自主学習や読書などに
進んで取り組むこともいいでしょう。

7 家庭学習でのお願い

- (1) 学校からのおたよりを、かばんから出させます。
(連絡袋の確認)
- (2) 学校から出る「宿題」を最初にさせてください。
- (3) 時間が余ったら、「家庭学習の参考例」の中から選んでさせていただきます。(自分で考えたものでもかまいません。)
- (4) どうしても勉強にあきてしまうときは、読書やお絵かきなどでもかまいませんので、必ず机に向かわせてください。「机に向かう」習慣を身に付けさせることが大切です。
- (5) 終わったら、計画帳(かにさんノート・玉の子ノート)をチェックしながら、明日の時間割をあわせさせます。

8 生活の中で心がけたいこと

- 読書は「見えない学力」を高めるので、進んで本を読む。
- 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典類を身近に置いて調べる。
- 日本地図や世界地図を身近に置いて調べる。
- 新聞を読んだりニュース番組を見たりして親子で話し合う。
- 自然や生き物とふれあい、くわしく観察する。
- 外遊びや運動をして、体力を高める。
- 家の手伝いを進んでする。

